

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生活活用事業の効果検証

No	事業名称	事業の概要（計画提出時） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	決算額 （千円）	交付金充当額 （千円）	事業の実施状況	事業の効果検証
		合計	1,585,620	1,523,326		
3	介護・障がいサービス事業所支援事業	①利用者や家族に必要なサービスを安心・安全に提供するため、事業所等における新型コロナウイルス感染症対策に係る負担を軽減することにより、感染防止対策の充実を図る。また、感染拡大期において、事業所等で不足している衛生用品等を現物支給することで、事業所等における感染防止対策の補強を図る。 ②感染症対策を徹底した上で、サービス提供するために必要なかかり増し経費*に対する補助金及び郵便料並びに事業所等に配布する衛生用品等の購入に係る消耗品費 *補助対象とするかかり増し経費： オンライン面会実施にかかる費用 新型コロナウイルス検査キット購入費 衛生用品等の感染症対策に要する物品購入費 等 ③・補助金及び消耗品等購入費 81,661千円 対象数：394事業所 補助金：1事業所につき200千円を限度（上半期100千円、下半期100千円） ・郵便料 70千円 ④介護・障がい福祉サービス事業所等	49,762	48,000	○感染防止支援事業補助金 ・R4.5.24 対象事業所へ周知・申請受付開始 ・R4.11.30 事業の追加実施通知 ・申請：177件（179法人、509事業所）※のべ件数 ・交付決定：177件（179法人、509事業所） 49,313,767円 ○衛生用品の支給 ・支給先：2事業所 ・購入品：使い捨てガウン、消毒薬、フェイスシールド、使い捨て手袋 ・購入費：434,163円	○新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、感染防止対策を実施した介護・障がい福祉サービス事業所に対し、その費用の一部を補助し事業所等における感染防止対策の補強を図った。 また、入所施設においては、オンライン面会の利用を促進することで、感染のリスクを避けつつ家族との交流を可能にすることで、入所者の精神的な安定と安心の確保を図った。 （対象期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日、上限20万円/事業所） 交付事業所数（延べ）509事業所 執行額 49,313,767円 執行率 69.6% ○感染拡大期において、事業所等で不足している衛生用品等を現物支給し、感染拡大阻止に寄与した。 配布事業所及び配布数量：4事業所 ・抗原検査キット 2箱 ・フェイスシールド 20枚 ・アイソレーションガウン 80枚 ・ニトリル手袋 6箱@100枚 ・消毒薬 17l
6	伊勢のお店応援商品券事業	①新型コロナウイルス感染症の影響で、市民等の外出自粛により事業者の経営は苦しい状況にあるため、市内の取扱店舗で利用できるプレミアム付の商品券を発行することにより、地域における消費を促進し、地域経済の回復を図る。 ②6.5千円分の商品券を5千円で販売し、その差額（プレミアム分1.5千円）及び事業執行に係る経費 ③商工会議所の商品券発行事業への補助金 307,000千円 （プレミアム分1.5千円/冊×155,000冊=232,500千円、銀行換金・郵便局販売手数料8,873千円、印刷製本費（商品券、アンケート等）・広告宣伝費・役務費・人件費・委託料・使用料・消耗品費等65,627千円） ④商工会議所、市内事業所、市民	298,020	295,000	発行冊数 155,000セット （電子商品券90,000セット、紙商品券65,000セット） 販売冊数 154,281セット （電子商品券89,821セット、紙商品券64,460セット） 取扱店舗数 1,149店舗	プレミアム付の商品券を販売することで、消費者の購買意欲を高め、事業期間中に市内で10億円以上が流通し、地域における消費を促進した。
7	伊勢市版地域経済復活支援金	①新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が減少した事業者の事業継続を支えるため、支援金を交付する。 支給要件：三重県地域経済復活支援金を受給していること 支給額：県支援金と同額。ただし、市独自の上限額として法人200千円、個人100千円とする。 ②支援金交付に係る経費 ③封筒等購入 37千円 通信運搬費（通知書等2,800通） 236千円 支援金（2,000件） 281,300千円 ④伊勢市内に本店を有する法人又は伊勢市内に住所を有する個人事業者	274,102	270,271	交付決定：1,957件、273,941千円	国、県の支援金を受けてもお厳しい状況にある中小企業者1,957社の事業の継続に寄与した。
8	E C 販路開拓支援事業	①巣ごもり需要の後押しもあって全国的に市場拡大しているEC（電子商取引）への進出及び取組拡大を促進することにより、市内事業者の販路拡大とアフターコロナも見据えた商業の活性化につなげる。 ②ECサイトの開設・改修・モール型ECサイトへの出店に対する補助金、（公社）伊勢市観光協会との協働事業で同協会ECサイトを改修するとともに市内のECサイトを網羅するポータルサイトを構築するための負担金 ③補助金 14,000千円 負担金 15,584千円（うち観光協会ECサイト改修2,000千円、ECポータル構築12,584千円、事務費1,000千円） ④補助金交付対象者 市内に本店をもつ中小企業者 負担金事業対象者 ECサイトを運営する市内事業者、（公社）伊勢市観光協会	25,438	24,000	【EC開設・出店・改修補助金補助金】 交付57件、10,907千円 【伊勢市ECポータルサイト構築】 （公社）伊勢市観光協会との協働事業。令和5年3月10日、伊勢市ECポータルサイト「ISE ONE」を公開。 【伊勢市観光協会ECサイト改修】 （公社）伊勢市観光協会との協働事業。ユーザーにとっての使い勝手を高める改修を令和5年2月に完了。	補助金交付57件のうち33件がECサイトの新規開設に対するものとなり、市内中小企業者のEC化促進に寄与した。また、補助対象者を含む市内中小企業者による物販系ECサイトを一堂に集めるポータルサイト「ISE ONE」が運用を開始し、EC販路拡大支援の基盤が整った。

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生活用事業の効果検証

No	事業名称	事業の概要（計画提出時） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	決算額 （千円）	交付金充当額 （千円）	事業の実施状況	事業の効果検証
9	伊勢の魅力・文化発信事業	①市内のメインとなる観光エリアやスポット以外の情報を、画像を活用して発信し、アフターコロナも見据えた旅行の促進と認知度向上を図る。 ②情報発信事業業務委託料 ③A:伊勢の魅力再発見・発信事業業務委託料3,200千円 B:『Google Arts & Culture』を活用した情報発信事業業務委託料6,600千円 ④観光客、市民	9,790	8,000	伊勢の魅力再発見・発信事業業務委託 伊勢の絶景写真を投稿するフォトコンテスト「DJ絶景プロジェクト伊勢」を開催 ・「Discover Japan」本誌掲載：2回 ・応募総数264 作品 ・応募作品“いいね”総数24,116件 ・デジタルサイネージ放映台数：東京国際空港24台・伊勢市内11台 『Google Arts & Culture』を活用した情報発信事業業務委託 ・「伊勢うどん・御頭神事・伝統工芸（伊勢和紙等）」など、伊勢の文化・芸術等をテーマとした7つのストーリーを画像や動画を用いて作成	絶景スポットの写真投稿については、インスタグラム上にて平均581件の「いいね」の反応がある投稿者もあり、アフターコロナも見据えた旅のスタイルの確立を目的とした知られざる伊勢のスポットの情報発信を行うことができた。 また、旅行需要促進と認知度向上を図ることを見据え、世界各地の美術館等が所蔵する作品などが鑑賞できるプラットフォームサイト『Google Arts & Culture』に掲載する、伊勢市の持つ文化や芸術等のストーリーを新たに7つ作成した。
11	旅行消費拡大事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により、観光消費が落ち込んでいるため、対象宿泊施設を利用した観光客に買い物クーポン（金券）が当たるスクラッチくじの配布や、キャンペーン等を実施し、伊勢志摩地域内の宿泊施設や土産物店等の利用を促進し、地域内観光産業の支援と観光消費の促進を図る。 ②旅行消費拡大事業負担金 ③負担金30,000千円 ④地元宿泊施設・土産物店等、観光客	30,000	28,000	伊勢志摩地域の宿泊施設利用者に買い物クーポンの当たるスクラッチくじ配布等キャンペーン「伊勢志摩ジャンボ！！キャンペーン（キャンペーン実施期間：令和4年9月1日～令和4年11月13日）」を実施 ・宿泊施設（スクラッチ配布場所）215件 ・クーポン使用店舗659件 ・スクラッチカード配布・クーポン利用実績 配布数：609,250枚 発行クーポン数（使用数）：66,653枚（65,334枚） Wチャンス応募数：25,161名 ・プラチナマップ利用実績 公開スポット数：674か所 マップPV数：79,788PV スポットPV数：95,711PV ユーザー数：38,343名 キャンペーン終了後令和5年2月20日発行の宿泊情報誌へ割引クーポン付き記事の掲載	伊勢志摩地域の宿泊促進および消費促進を目的に、土産物店等の対象施設で使用できるスクラッチカードを、宿泊施設にて配付したことにより、約6,500万円の消費促進につながった。また、Wチャンスとして実施したプレゼントキャンペーンを通じて、LINEの友達追加の促進や顧客情報の入手につながった。
14	福祉施設等安定運営支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、原油価格・物価高騰の影響を受けている民間の各種福祉施設等の運営経費を一部支援し、施設の安定運営を図る。 ②交付金 ③介護サービス等事業所（311施設、138,197千円） ④介護サービス等事業所	107,002	105,000	○介護サービス等事業所安定運営支援金（前期） ・R4.8.9 対象事業所へ周知・申請受付開始 ・申請：77件（75法人、23事業所） ・交付決定：77件（75法人、23事業所） 54,015,000円 ○介護サービス等事業所安定運営支援金（後期） ・R4.12.5 対象事業所へ周知・申請受付開始 ・申請：69件（71法人、231事業所） ・交付決定：69件（71法人、231事業所） 52,980,000円	○原油価格や物価高騰の影響を受けている福祉サービス事業所等に対し、支援金を支給することにより、安定的なサービス提供の継続及び利用者負担の増加の防止を図った。 交付事業所数（延べ）469事業所 執行額 107,001,543円 執行率 88.6%
15	物価高騰生活応援給付金支給事業	①新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、原油価格・物価高騰の影響を受けていることから、市民の生活支援を目的に、1世帯あたり1万円の現金給付を行う。 ②③現金給付 41,500世帯×10,000円＝415,000千円、需要費2,207千円、役員費10,763千円、委託料750千円 ④国の「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」の対象外世帯	416,740	401,504	○支給決定 40,089件 400,890千円 ○事務費分：15,850千円 会計年度任用職員報酬等、郵便料、封筒・チラシ印刷、支給対象者抽出委託料、トナー購入等	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、原油価格・物価高騰の影響を受けていることから、市民の生活支援を目的に、国の「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」の対象外世帯へ1世帯あたり1万円の現金給付を行った。 ○支給対象世帯数 42,420件 ※支給実績 40,089件（給付率：94.5%）
17	中小企業者物価高騰支援金	①新型コロナウイルス感染症の影響長期化に加え物価高騰が続く中、市内中小企業者等の負担軽減並びに事業継続を支援するため、支援金を交付する。 支給額：個人事業者 50千円、 法人 従業員数が20人以下の場合100千円、 法人 従業員が20人を超える場合 従業員数×5千円（上限200千円） ②支援金交付に係る経費 ③委託料 14,700千円 支援金（4,442件） 364,550千円 ④ 令和4年9月1日以前から伊勢市内に住所を有する個人事業者又は伊勢市内に本店を有する法人	374,766	343,551	交付決定：5,132件、364,220千円	物価の高騰が続く中、市内中小企業者5,132社の事業の継続に寄与した。